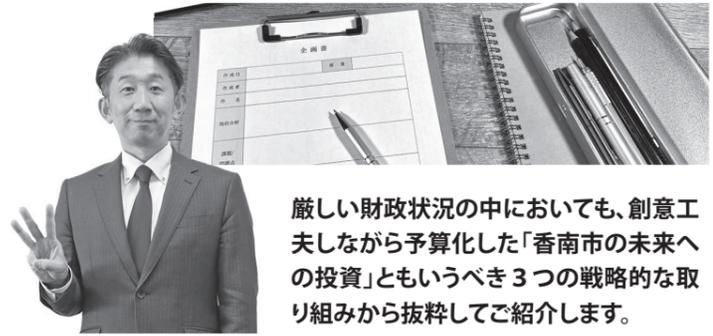


# まちの未来のための 3つの 戦略的 な取り組み Strategic Initiatives



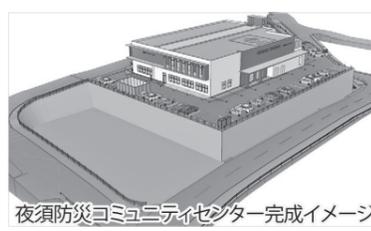
厳しい財政状況の中においても、創意工夫しながら予算化した「香南市の未来への投資」ともいべき3つの戦略的な取り組みから抜粋してご紹介します。

## 1 子育て=香南市というブランド化に向けた挑戦 「こどもまんなか社会」を念頭に、全庁全職員が意識的に取り組み、新しいアイデアを積極的に取り入れます

- ▶野市町・赤岡町の放課後児童クラブで延長保育を実施します
- ▶総合子育てセンター「にこなん」を毎週土曜日開設します
- ▶農業公社で農薬類を5割以下に低減して栽培する「特別栽培米」の栽培面積を増やし、給食へ提供します



## 2 暮らしを守り、人にやさしいまちへ 気候変動などによる台風・豪雨等の自然災害に対し、迅速かつ計画的に対応するとともに誰もが安心して暮らせるまちづくりをさらに進めます



- ▶次期南海トラフ地震に対し、ハード面・ソフト面の津波対策に加え、まちづくりの観点を踏まえた中長期的な津波防災の総合計画を策定し、安全な地域づくりを進めます
- ▶住宅耐震化促進事業の受付件数を拡充し、家具転倒防止器具購入・取付費補助金を増額しました(いずれも27ページ参照)
- ▶夜須防災コミュニティセンターの建築工事に着手します



## 3 持続可能なまちづくりの推進 子どもたちの未来を守るため、未来を見据えた公共施設等マネジメントや、子どもたちを取り巻く教育環境整備、行政業務および地域のDX化を推進します

- ▶本年度から3カ年計画で、小・中学校教育DX推進事業を展開し、学校のDX化を一層推進します
- ▶デジタル化の促進と物価高騰の影響を受けている中小企業等を支援する補助金を新設しました  
※県の「デジタル技術活用促進事業費補助金」の自己負担部分に対するの支援



※写真はすべてイメージです

# 目指すは やっぱり香南市がえい! と言ってもらえるまち

# Mayor's Policy 令和7年度 施政方針



20歳を迎える香南市

令和8年3月1日、香南市は誕生して20年を迎えます。

これまで本市は、合併時に掲げた目標像である「住民の生活圏の広域化、価値観の多様化なども踏まえ、圏域全体の連携、協働を図りながら、現在の住民も、新たな住民も、手と手を取り合い、活力のある元気なまちづくり」を進めていくために、これまで幅広い施策と事業を展開してきました。

財政的にも厳しい

一方で、本市の令和5年度一般会計決算において実質単年度収支が7億8千335万5千円の赤字となり、合併後初めての赤字決算となりました。

この20年間の、著しく変化する社会情勢や多様化する市民ニ

ズへの対応、南海トラフ地震への備え、激甚化・頻発化する豪雨を始めとする自然災害への対策などへの積み重ねの結果であり、さらに、少子高齢化等に伴う社会保障関連経費の増加、公共施設等の維持・更新、加えて人件費の増加など、本市の財政課題は減ることはありません。

このような状況を鑑み、令和7年度予算の一般財源について、対前年度比で5パーセント削減する見直しを行うこととしました。が、人件費など義務的経費の大幅な増額を吸収するにとどまり、結果としては0.1パーセントの削減となりました。

見直しと立て直しが必要

市政を現状のまま維持していくことが困難である以上、私たちは今一度全ての事務事業および

人員配置の適正化などについて、根幹にまで踏み込んだ抜本的な見直しをせざるを得ない状況です。

令和6年度から取り組んでいる「3つの戦略的な取り組み」(9ページ)を着実に進め、誰もが安心して暮らし、働き、子どもを育てることが出来るまちづくりのために、本格的な行財政改革を実施します。

早急に全ての事務事業を洗い出し、人員の適正配置、事業の抜本的な見直しなどに全庁で取り組み、持続可能な行財政基盤の構築を目指します。

香南市長  
濱田豪太

※3月に開催された第116回香南市議会定例会での濱田豪太市長の施政方針演説を、広報紙面に再構成して、掲載しています

